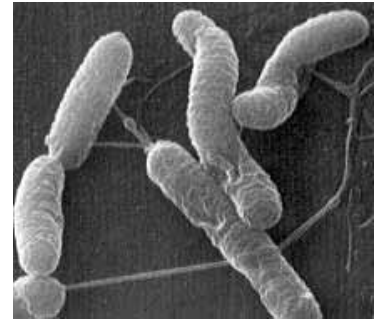


■ あなたの胃にもピロリ菌！

最近、テレビや新聞などのメディアにも取り上げられ注目を集めているピロリ菌。今回の上原内科クリニックのニュースレターはピロリ菌についての特集です。

1. ピロリ菌について

ピロリ菌は右図のように数本の尻尾があり、ヘリコプターのように螺旋形をしていることよりヘリコバクター・ピロリ(正式名称 *Helicobacter pylori*)と名づけられました。

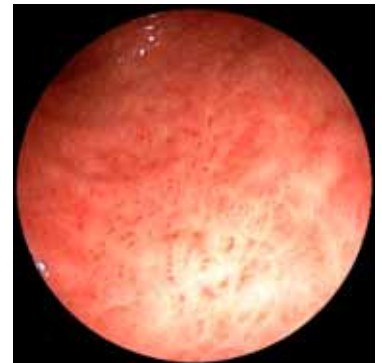


慢性胃炎や胃潰瘍、さらに胃ガンなどの重要な要因として大変注目されています。ピロリ菌の発見はこれら胃病変の予防や治療を画期的に進歩させ、まさに医学書を書き換えるほどの世紀の大発見となりました。ちなみにピロリ菌の発見者(二人のオーストラリア人医学者)は2005年にノーベル医学生理学賞を受賞しています。

日本人における感染率は先進国の中ではかなり高く、40歳以上の日本人では75%以上の方がピロリ菌に感染していると言われています。

2. ピロリ菌による慢性胃炎

胃の辺りが痛いとかムカムカするなどの症状がある場合、胃内視鏡検査(いわゆる胃カメラ)を行います。この検査では潰瘍、ポリープやガンなどを見つけることが主な目的ですが、胃炎の有無を診断することも重要な目的の一つです。慢性胃炎になると右図のように胃の粘膜が赤と白のまだら模様になります。多くの胃の病気はこの慢性胃炎を背景として発生するため、胃炎の状況により潰瘍やガンの発症リスクを推測することも可能となります。そして、**この慢性胃炎の最大原因がピロリ菌の持続感染なのです。**



3. ピロリ菌の検査

ピロリ菌に感染している疑いがある場合、尿素呼気試験という検査を行います。この検査は吐息を2回採取するだけの簡単なもので、痛みなどは全くない検査です。

当クリニックでは検査終了後わずか数分で結果の分かる最新式の診断装置を導入していますので、胃の調子が悪いなどの症状がある方は是非一度ピロリ菌の検査を受けてみてください。

4. ピロリ菌の治療

ピロリ菌の治療は一般的に除菌と呼ばれます。この除菌療法は三種類の薬を1日2回7日間飲むもので、除菌成功率は約80%です。ピロリ菌を除菌できれば胃炎は著明に改善し、潰瘍やガンの発症リスクを明らかに減らすことができます。また、一度除菌に成功すれば再感染することは稀です。

※ **当クリニックではピロリ菌の検査・治療を積極的に行っています。**
お気軽にご相談ください。